



分権型協働都市の実現に向けて
～市民と行政の協働によるまちづくり～

新潟市

～Fin.～

住民力の強化による安全安心なまちづくりの背景と課題

<p>1. 調査の背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民生活を取り巻く様々な不安の広がり <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害への不安(自然災害、犯罪被害、環境問題、食の安全など) ・ 健康への不安(からだの健康、こころの健康、アレルギー、ストレスなど) ・ 暮らしへの不安(子育て、教育、医療、介護、雇用、家計、老後人生など) ● 地域コミュニティの急速な空洞化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少、高齢化・少子化、後継者不在等による既存のコミュニティの衰退 ・ 人と人の関係の希薄化・疎遠化、顔の見えない隣人関係 ・ 子供・若者・女性・障害者・高齢者の孤立化、家庭・地域・学校等の分断化 ● 市民活動・民間非営利活動の成長 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体の財政制約、行政サービスの守備範囲の限界、市町村合併の進展 ・ 市民の価値観・ニーズ・ライフスタイルの多様化、社会問題の多様化・複雑化 ・ 市民参加の促進、テーマコミュニティの形成、企業の社会貢献活動の活発化 	<p>2. 防災・防犯を軸とした取り組みの考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域で支えることが必要な安全安心課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 左記の市民生活を取り巻く様々な不安要素のうち、特に自然災害、犯罪被害等の対応は全住民の共通課題であり、自助・共助においてコミュニティの果たすべき役割が大きい。 ・ したがって、本調査では、「防災・防犯」を軸とした住民力強化に焦点をあて、その推進方策を検討するものである。 	<p>3. 調査課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全安心なまちづくりへの取り組みが必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災等の自然災害地域における経験や知見の共有化、防災まちづくりの推進 ・ 若年層の犯罪増加、身近な犯罪被害への危機感、防犯まちづくりの推進 ● 「住民力」の強化が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に円滑に対応するためには、日常から自助・共助の意識や取り組みを醸成する「住民力」の強化が必要 ・ 「安全安心社会」の最も重要な基盤となるのは「人と人が助け合い、支え合うコミュニティ」であり、特に、コミュニティの力が果たす役割は非常に重要 ● コミュニティ連携のための新たなしくみが必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティを強化するためには、住民一人ひとりの参加力を向上するとともに、様々な市民活動や民間非営利活動の連携と協働を促進する、新たなしくみが必要
---	--	---